

インドネシアでは、アジアの主要市場では最も早く、9月末より海外旅行が再開している。送客先一番乗りとなったのはトルコだ。トルコ政府観光局は、9月中旬にインドネシアの主要旅行会社や著名インフルエンサーを視察のため招聘している。

トルコは、欧州と組み合わせたツアーを組めることなどから近年人気の観光地だったが、コロナ禍で注目を集めているのは、現時点で訪問が可能

JNTOジャカルタ事務所 天野 泉 所長

インドネシアの海外旅行



ビザの発給状況を伝える現地旅行会社の広告

「政府による安全宣言」で

インドネシアは、アジア最多となっているインドネシアだからこそ、逆に国際間の人の往来に對して、拒否感が少ない

でも特段の規制はないが、国内線搭乗時や中長距離列車の乗車時には、ウィルス陰性証明の提示が必要

のため、主要駅や空港には迅速検査などを設置されている

後日本へ渡航を検討するときに、決め手となる情報は何かとの質問に對し、一番多かった回答は「インドネシアもしくは日本政府による安全宣言」で

ウィズコロナで既に再開

新型コロナウィルスの抑え込みに苦戦し、感染者数、死者数とも東南アジア

形となっている。また、国内旅行について

多くの国内観光客が集まる

「日本でも試してみたい」という声は、アウトドアや街歩きニーズが高まっていることが感じられる結果となった。

な数少ない旅行先であることが大きいと思われる。各旅行会社は、トルコ以外にも観光客の受け入れを開始したドバイなどを訪れるツアーの販売を開始し、各国のビザ発給状況についても盛んに宣伝をしている。

国時にウィルス陰性証明などが義務付けられているものの、帰国後の隔離については、特に当局による監視体制はない

ため、自主的に実施される形となっている。

この結果からも、インドネシアでは訪日旅行に對する心理的障壁が少ないことが感じられる。一方で「日本で行きたい訪問先を尋ねた質問では、定番のゴールデンルートを選んだ方が1年前の調査より多くなっており、